

## 第 60 回全国壮年大会 in きたかん 開催にあたって

第 60 回全国壮年大会実行委員長 戸田浩司 (西川口教会)

主のみ名を賛美します。

今年の全国壮年大会は第 60 回という、ある意味記念すべき大会と捉えられると思います。人生に例えれば還暦ということになりますが、それほど長く続いてきたこの全国大会は文字通りこれまで全国の壮年の方々の手によって企画運営され実行されてきました。

私はその経緯、詳細を存じあげてはいないのですが、これまでの歴代の運営・実行に携わってこられた方々のご努力と労苦がどれほどのものだったかと想像し、この大会を運営・実行することは本当に大変なわざであることを痛感しているのと同時に、その大変さを上回る主の豊かな恵みと導きがあったのだらうと確信します。

今、実行委員長をさせていただいて思うのは、実行委員をはじめ大会運営関係者の皆さんと協力して準備にあたって途中で「協働」という予想外の大きな恵みを受けていることと主の導きを実感する場面が多くあるなあということです。心から主に感謝します。

さて今回の大会テーマは「これからの No Border な教会の話をしてしよう! ~教会が「教会」であり続けるために~」です。私たちは性別や国籍、宗教、社会的立場など様々なボーダーを意識する局面が多々あり、時にそれらのボーダーにとらわれ、不自由な思考、行動に陥ってしまうこともあるのではないのでしょうか。

イエス様は当時の宗教的、社会的なボーダーを越境し、悩み苦しんでいる多くの人々に救いの手を差し伸べられました。現代におけるボーダーについてともに考え、分かち合ってみませんか。

今回は対面とオンラインでのハイブリッド形式で開催しますので、参加可能な方法をお選びいただけます。また「壮年大会」ではありますが、性別、年齢等問わずどなたでもご参加いただけます。当然のことながら No Border です。

なお大会参加の登録締切日は 6 月 13 日 (金) とご案内しておりましたが、全国壮年会連合総会代議員の登録日変更 (6 月 30 日・月まで延長されました) に合わせて、大会参加登録期限を 6 月 30 日 (月) に変更しますのでご承知ください。

もし期限内に登録できない場合は、大会実行委員長・戸田 (todakouji81@gmail.com) 宛ご連絡ください。特設サイトが開かれている期間は登録が可能です。

多くの方のご参加を心から歓迎します。お待ちしております。

主にありて

### 第 60 回全国壮年大会参加に関するご案内 登録締切日を 6 月 30 日 (金) に変更します。

大会参加の登録締切日は 6 月 13 日 (金) とご案内しておりましたが、全国壮年会連合総会代議員の登録日変更に合わせて、大会参加登録期限を 6 月 30 日 (月) に変更しますのでご承知ください。

1. 登録方法は、QR コード (または「きたかんWEB※」で検索) から特設サイトを通してお申込みが可能です。

パスワードは「noborder60」(半角)です。

また、「登録」(Google フォーム) がご利用になれない方は、特設サイト内「資料ページ」ボタンから Excel ファイルをダウンロードしてご利用ください。

この特設サイトでは大会開催に関する最新情報を更新するようにしていますので定期的にご確認いただけますと幸いです。

もし、期限内に登録できない場合は、下記「お問い合わせ先」にご連絡ください。特設サイトが開かれている期間は登録が可能です。

※「きたかんWEB」 <https://church-church.com/sounen2025>

2. 大会および愛餐会の参加費は、7 月 25 日 (金) までに指定の口座にお振込みください。

口座情報は特設サイトに記載しています。大会当日の会場での参加費納入はご遠慮ください。また Zoom の ID、パスワードは 7 月下旬に公開します。お手数ですが、その時期に特設サイトでご確認ください。

●お問い合わせ先 [todakouji81@gmail.com](mailto:todakouji81@gmail.com)

第 60 回全国壮年大会実行委員長 戸田浩司 (西川口教会) まで



「特設サイト QR コード」



## イエス・キリストの僕として生きる — 献身の理由と現在の心境 —

九州バプテスト神学校 専攻科1年 村田 一太 (福岡ベタニヤ村)

私が献身者になろうと思ったのは無牧師という教会を経験したことがきっかけでした。仏教徒として育った私は、幼いころ母に連れられて行ったお寺の本堂の上にかけてある地獄、極楽絵図を何度も見せられ「嘘をついたり悪いことをした人はあの地獄というところで永久に苦しめられる」と教えられ、どんなに気を付けても可愛いウソやおちゃめな悪さをしてしまう私はどうなるんだと、休みの日は遊園地に連れて行くと言ってウソばかりついている母は地獄行間違いなしだ！と思いつつも何とか地獄に行かなくても済むようになるにはどうするか、極楽でなくても良いから中間ぐらいないものか、といつも考えている子どもでした。

年を重ねるに従い、地獄行を免れるためだけでなく人間如何に生き、如何に死ぬべきか、人間として最上級の生き方とは何かと模索した結果、何をするにも損得勘定抜きで行う事を積み重ねることで世の中の諸々の執着を外れ、最後は良い死に方が出来るのではないかないう事でした。

そんな訓練をするのは寺以外では教会しかないということで近くにあった福岡ベタニヤ村教会を訪ねました、讚美歌にひかれてとか罪の赦しとか綺麗な話ではなく、神様に呼ばれたわけでもなく、こちらから勝手に押しかけていった私を神様も教会の人々も暖かく迎えて下さり、数か月の後、受洗、その一か月後には教会は無牧師となり約3年その状態が続くのですが、その間、福岡ベタニヤ村教会のように無牧師でも説教者に事欠かない教会は少なく教会もお寺同様、牧師、信徒の減少に悩んでいる事、信徒数も少なく牧師を招聘することもできず生のメッセージも聞けない教会があることなどを聞き、そんな教会と信徒さんの為に少しでも力になれないかと思いつき決心したのが献身者になることでした。

このようなわけで現在九州バプテスト神学校の本科で三年間学び、今年から専攻科でより深い内容を身に着けていくわけですが、様々な気付きの中で当初抵抗があったイエス・キリストの僕として生きるという事、この「僕」という言葉は、何か人の言いなりになるような印象がしてしっくりこなかったのですが、学びが深まるにつれ幼いころから考え、決断に達した何かの為に、何をするにも損得勘定抜きで唯行う、という事が、命令されてではなくイエス・キリストの教えに、聖書の言葉に自らが喜んで言いなりになるイエス・キリストの僕という生き方と一致することに気づき、これからもそんな「僕」を目指しこの道を歩んでいきたいと思えます。



### 2025年度日本バプテスト連盟全国壮年会連合定期総会（8月21日）議案

1. 第60回（2025年度）総会議長選任の件
2. 2025年度全国壮年会連合副会長選任の件
3. 奨学金委員の補充の件
4. 2024年度全国壮年会連合活動報告・決算報告・監査報告に関する件
  - ①2024年度全国壮年会連合活動報告
  - ②2024年度全国壮年会連合一般会計決算報告
  - ③2024年度全国壮年会連合奨学金委員会活動報告
  - ④2024年度日本バプテスト連盟奨学金会計収支報告  
資料 日本バプテスト連盟神学生奨学金会計決算報告
  - ⑤2024年度監査報告書
5. 2026年度神学校献金目標額設定の件
6. 旅費交通費に関する規程の制定について
7. 2025-2026年度全国壮年会連合活動計画案の件
8. 2025年度全国壮年会連合一般会計修正予算案及び2026年度全国壮年会連合一般会計予算案の件
9. 2025-2026年度全国壮年会連合奨学金委員会活動計画案の件
10. 2025年度全国壮年会連合奨学金会計修正予算案及び2026年度全国壮年会連合奨学金会計予算案の件
11. 今期選挙管理委員の任期の変更の件（1年間のみの期間としての承認を得る）
12. 2026-2027年度全国壮年会連合役員選挙の件
13. 2026-2027年度全国壮年会連合奨学金委員長選挙の件
14. 第62回（2027年度）全国壮年大会担当地方連合の件
15. 第61回（2026年度）全国壮年会連合定期総会後からの総会議長の件

## <2025年度第1回全国代表者等会議報告>

去る2025年6月14日(土)、日本バプテスト連盟事務所3階会議室にて、Zoomを併用したハイブリッド形式で、第1回全国壮年会連合代表者会議が盛大に開催されました。本会議では、各地方連合の代表者、全国壮年会連合役員、奨学金委員、事務局が一堂に会し、来る定期総会に向けた最終的な協議とともに、今後の全国壮年会連合の働きについて、活発かつ建設的な議論が交わされました。特に、昨年にも増して多岐にわたる課題に対し、全員が前向きな姿勢で臨み、実り多い話し合いとなりましたことをご報告いたします。



代表者等会議の様子 連盟事務所3階

### <主な議題と進捗状況>

- ・ **役員人事の決定と新体制への展望**
  - 2025年総会議長として、次年度大会担当の慣例に基づき、関西連合の檜崎宣夫さん(田辺教会)が選出されました。
  - 兼任解消のため、東京連合・星文也さんが副会長に推薦されました(任期:2025年4月~2026年3月)。新たな体制のもと、一層の組織強化を目指します。
- ・ **神学校献金の目標維持と用途拡大**
  - 神学校献金の目標額は、昨年同様2,500万円を維持することが提案されました。
- ・ **規定の明確化と運営の透明性向上**
  - 旅費交通費に関する規定案が提示され、最も経済的な実費計算を原則とし、総会承認の規定と位置づけることで、運営の透明性が一層高まります。
- ・ **2025年度活動計画と伝道者養成の推進**
  - 伝道者養成というビジョンに基づき、神学校献金の推進、奨学金制度の運営(貸与から給付への移行や免除の拡大を検討)、献身者の掘り起こし、協力伝道、伝道派遣チームの派遣など、具体的な活動を継続・強化していくことが確認されました。
  - 性別や既婚・未婚、年齢によらない組織構築を目指す「ジェンダーレス」への取り組みについても活発な議論が行われ、来年度総会での議案提案に向けた協議を進めます。
- ・ **予算と今後の大会・イベント計画**
  - 奨学金委員会では、会計事務の効率化に加え、奨学金制度の充実(給付への移行、免除拡大)に向けた検討を進めることが報告され、向井田洋さん(仙台)が新たな委員として加わります。
  - 2027年大会は神奈川連合での開催を検討中であり、2026年バプテストフェスティバル(8月6日~8日、西南学院大学)との共催でのイベントを実施する計画が進んでいます。

今後も、皆様のご理解とご協力のもと、全国壮年会連合の働きをさらに発展させていく所存です。引き続き、私たちの活動にご期待ください。  
(全国壮年会連合 事務局長 稲川)

〔訂正して、お詫び申し上げます。〕

〈訂正①〉 神学校週間のパワーポイント資料「2025年度神学校週間によせて」スライド5  
東京バプテスト神学校にはご迷惑をお掛けしました。訂正いたします。

誤： 東京バプ 4名〈奨学金貸与予定者〉  
神学専攻科 4名

正： 東京バプ 1名〈奨学金貸与予定者〉  
神学専攻科 4名

〈訂正②〉 神学校献金一覧表【2024年度神学校献金・会費一覧】  
お詫びして訂正いたします。(2025/4/25 全国壮年会連合ニュース 136号と併せて送付済)

誤：

姪浜バプテスト教会	神学校献金(円)	連合会費(円)
2024年度累計 (2025.3.31現在)	140,481	42,000

正：

姪浜バプテスト教会	神学校献金(円)	連合会費(円)
2024年度累計 (2025.3.31現在)	160,481	22,000

〈全国壮年会連合関連の年内の予定〉

(オ)はオンライン

7月	5日(土)	議案説明会(オ)(10:00~)
	12日(土)	神学校献金推進委員会議(オ)(10:00~)
8月	20日(水)	総会議案投票締切日
	21日(木)	文書による総会(関係者連盟事務所)
10月	10日(金)	中間監査(連盟事務所)
	11日(土)	第2回役員会(オ)(10:00~)
11月	1日(土)	神学生との面接(奨学金委員)
		神学部教員との協議(役員・奨学金委員)
	8日(土)	第2回地方連合壮年会等代表者会議(オ)(10:00~)
12月	13日(土)	第2回奨学金委員会(オ)(10:00~)

全国壮年会連合 会長：高良 研一(恵泉)、副会長：星 文也(赤塚)(総会承認による)、事務局長：稲川 仁(宝塚)

書記：木村 均(大井)、会計：高井 透(高崎)

監査：堤 秀幸(福岡西部)、大城戸 一彦(所沢)

同奨学金委員会 委員長・会計：北村 慎二(宝塚)、総務：浦瀬 佑司(札幌)、返還：鶴澤 寛(鳥栖)

渉外：古田 晴彦(宝塚)、向井田 洋(仙台)

連盟理事：杉山 いずみ(徳島)、神学部長：日原 広志(有田)

事務局 飯野 實(宮原)

神学校献金 振替 00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局



日本バプテスト連盟全国壮年会連合

〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務：月、水、金 10:00~16:00 ☎・fax:048-886-7533 <http://www.sonnen.net> [sonnen@bapren.jp](mailto:sonnen@bapren.jp)